

発行人 関西障害定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町二・一 東興ビル4F
一九八四年 八月二〇日 第3種郵便物承認 毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日) 発行 頒佈百円

KSKP

とことこニュース

49号



～ もくじ ～

- 2p～4p バリアフリー2018
- 5p Facebookのお知らせ
- 6p ボランティアスクール
- 7p～10p バリアフリー調査しました
- 11p～12p 理事長交代のご挨拶

前号までは縦書きでしたが、編集の都合により、
今回からは横書きに変更しました。
今後ともご愛読よろしくお願い申し上げます。

Facebookやっています！詳細は5ページにて！



あいえるせんたー 🔍

4月にインテックス大阪で開催されたバリアフリー2018を見学しました 日々の生活の中で役に立つ商品を見つけてきました(^^)／

ILセンター障害者スタッフ 奥村 柊

バリアフリー展に行ってきました。僕は、防災用品をいっぱい見ました。

特に凄いなと思ったのは、ブレーカーで【震太郎】と言う商品です。揺れてブレーカーが落ちてても勝手に電気がつきます。僕はびっくりしました。

震太郎は、ブレーカーを使う前にテストボタンを押します。すると地震の時の警報が流れます。その後、ブレーカーが電気を止めると非常用電球がつきます。テストが終わるとリセットを押します。地震の時に電気ストーブなどの電源を消してくれるので、火災が起きません。僕はそこが驚いています。呼び出しボタンもあります。ボタンを押すと番号が出ます。

僕は、ブレーカーが凄い役に立っていると思いました。一人暮らしをする時に役に立つと思うので、使いたいです。

介助者 Mr. WADA

防災コーナーのある4号館へ行きました。災害時の問題になる懐中電灯・トイレなどの新製品、また火災時に着衣着火事故を防ぐ防災品等、いつ災害が起こるかかわからないため、決して他人事としないよう常にこういった物を備えておく必要がある。また緊急時の移動等を考えるとバリアフリーは防災の一つであると言える。災害直後は防災への意識も高まっているが、時が経つにつれあまり意識をしていないという方が増えてしまっているように思われる。だからこそ今回は防災について改めて考える良い機会になりました。

その後は、全ての館に行ってみました。様々な障害をお持ちの方の助けになるよう、細部まで行き届いたものが数多く展示されていました。カタログでしか見られない製品もあり、実際に触れてわずかでも体感出来た事は良かった。モーターショーと間違える程多くの福祉車両、それに介護ロボットなどが展示されていました。福祉・医療の分野にも最先端のテクノロジーを使った事例が増えています。素晴らしい製品ばかりで、これを利用したらどれだけの人が幸せになれるのか、また今後ますます使う人の可能性を広げていく事だろう、とも思いました。使う人のニーズと、必要な福祉機器を組み合わせる事で、その人の生活が充実し、もっと快適に過ごしやすいようになるのだらうと思います。でもいかに性能が良くても、使用者のニーズに合わなければ…またその組み合わせも、これだけの製品があると難しい。

だからこそ開発者と利用者が同じ場所にいる事ができ、体感・体験したリアルな声をダイレクトに届ける事が出来るこのような場所は必要ではないだろうか？また支援者側にとっても多種多様にある福祉機器を知る良い機会だったとそう感じる展示会でした。

あいえるせんたー逆瀬 障害者スタッフ 土井 克哉

私は、4月21日にインテックス大阪で行われていた『バリアフリー2018』に行ってきました。

私は、10年連続で行っていますので、その中で、私が興味を持ったブースをいくつかご紹介していきたいと思います。

私が試乗したのが台湾製の電動でした。その電動車椅子は上下に動くので、一人で買い物に行った時に棚の上の物も、店員に頼まなくても、物が取れるので楽になると思いました。この会社は、アフターサービスに大阪の代理店を置いて西日本を回ってくれるそうです。

ブースの人の対応もよかったです。昨年までの電動車椅子のブースでは、試乗車の仕様は右手専用が多く、左利きには「変えられません」という対応が多かったけど、今回は、どのブースでも私が「左手で動かしたいのですが」と頼むと「できますよ」と言って左手用に変えてくれました。

蓄電池付きの充電ユニットも見つけたのでご紹介します。私たちが困るのが、災害時の電動の充電です。充電ができないと私たちは避難できません。

『(株)ライフクリエイトワークス・ココソ』の『ifu』シリーズだと太陽光で蓄電しながら同時に充電できるので災害時に便利かなと思いました。防水・防塵・耐衝撃機能が備わっています。問題は値段が1台45万円と高く簡単には買えませんし電動車椅子1台しか充電できません。オプションをそろえれば2台は充電できますが、オプションでソーラーシートがあるのですが、その分、60万円と値段も上がってしまいます。



今までは災害時には電動で動けなかったのが、これがあると、2次災害の時に私たちが逃げやすいかなと感じました。

災害が起きてからの3日間に避難・情報収集・安否確認・復旧活動が大切で電力も多く必要になります。これを使えばノートPCが16時間使えたり、携帯が70台分充電できます。この弱点は16キロと重くて移動に人手がかかることです。他の『ifu』シリーズだと重いけれど性能が良く下にキャスターがついていて簡単に動きます。

リースもできますが、自治体単位になりますので個人単位でリースできればと

思いました。日本全国に普及すれば、価格ももう少し下がるのではないかと思います。

前回ぐらいからどんどん、病院関係や施設関係のブースが増えてきて、バリアフリー展の意味が変わってきたと思いました。障害当事者の役に立つブースが増えるといいなと感じました。

あいえるせんたー逆瀬 障害者スタッフ 山本 隼

バリアフリー展に行ってきました。僕は、車椅子のコーナーを見ました。そこで僕は、気になった車椅子を見つけました。その車椅子の名前がWHILL Model C(ウィルモデルシー)です。この車椅子は、重さが52kgです。



そして分解が簡単にできます。3つに分解ができます。

分解ができるので乗用車のタクシーにも簡単に乗せられると思いました。

大きさは、普通の電動車椅子と同じ大きさぐらいでエレベーターにも乗ることもできます。

電動車椅子は、でこぼこ道やちょっとした段差が危ないし勢いを付けて登りますがこのWHILL Model Cなら10°の坂も簡単に行けるし登りやすくなるのでいいと思います。

コントローラーは3種類あって、「マウスタイプ」、「ジョイスティックタイプ」「ジョイスティックリシェイプ」があります。僕は、マウスタイプのコントローラーを操作しました。

少し操作がしにくかったです。なぜなら僕が使っている電動車椅子は、棒のようなコントローラーで慣れているからです。

コントローラーから手を離せば自動でブレーキがかかります。僕は、てんかんの発作があるので、下り坂を走っている時には安心です。ショッピングバスケットも付けられます。

僕は一人で買い物に行くのが難しいのでヘルパーの介助が必要ですが、これだと一人で買い物ができますし、カゴが下に付いているので買い物がしやすいです。他にもiPhoneで操作ができます。

5時間の充電で、16km走ります。色は、8色あります。背もたれのクッションが3種類S・M・Lがあります。

僕は、この車椅子について話を聞き実際に乗ってみました。最初は普通の電動車椅子みたいな感じだと思って実際に乗ってみると発進したらいつも乗っている車椅子と目線が高く違うので怖かったです。普段使っている車椅子とWHILL Model Cとでは、乗り心地が違いました。体を固定するベルトが無かったので僕が使うのは無理でした。値段は約45万円です。皆さんも一回乗ってみてください。



Facebookのお知らせ

あいえるせんたーでの様子や、出来事、皆さんにお知らせしたいことを、Facebook(フェイスブック)に投稿しています。

もうすぐ、Facebookの初投稿から1年が経とうとしています。

投稿を見てくださっている皆様、ありがとうございます。

はじめは、不定期で行事のお知らせや、その時その時の出来事を載せていたのですが、今では毎週担当を決めて、それぞれが最近自分の身にあった出来事や、最近の仕様の様子を書いて投稿しています。

Facebookに何を載せようか、仲間のみんなと話をしたりと、これも一つの皆さんのコミュニケーションになっています。

あいえるせんたーの仕事の中で、一つ一つの仕事に担当が決まっていたりしているのですが、Facebookの投稿は順番に担当をして、あいえるせんたーの様子を伝えていくという、障害者スタッフや職員のみなが一緒にできる仕事になっています。

あいえるせんたーのメンバーでFacebookをやっているメンバーが多く、更新していると、仕事が始まる前や休憩時間に「Facebook見たよ！」とFacebookを見たメンバーが、投稿を担当したメンバーに話をし、そこからまた話が広がったりと、みんなで楽しくFacebookの投稿をしています。

これからも、一週間の様子を皆で楽しく、更新していきたいと思っておりますので、皆様どうぞよろしくお願い致します。

あいえるせんたーのFacebookのページは、Facebookのユーザー検索画面で【@independent.living.center】で検索をすると、私達の毎週の様子を見ることが出来ます。友達申請もしていただけると嬉しいです。よろしくお願い致します。



あいえるせんたー逆瀬 バザーのお知らせ

あいえるせんたー逆瀬は平成29年の4月から店舗スペースが広がっています。近隣の皆様の認知を頂いて売り上げの方もだんだん伸びてきました。

今後も近隣の皆様の認知を受けて頑張っていきたいと思っております。

商品の方は近隣の皆様よりご寄付頂いております。

商品をご寄付して頂いた皆様、誠にありがとうございました。

ボランティアスクールについて

1年に20校ほどの宝塚市内の小中学校を中心に、当事者の話と車椅子体験をしに行っています。

私たちは『いろんなことに工夫は必要だけど、障害があってもなくても、周りの人に支えてもらいながら生活しているのはみんな同じ』ということを生徒さんたちに伝えています。

どんなことが不便なのか、その不便さをどんなふうに工夫したらいいのかを、考えるきっかけの一つになればと思い、小中学校を回っています。

話をする中で、生徒さんとの距離が少しでも縮まればということを目的として、話を終えた後、質疑応答の時間を設けるようにしています。

大人になってからでは、近い距離間で気になったことを聞くというのはなかなか聞けない。なので、この機会に気になった事を何でも聞いてくださいと言うと、生徒さんからの質問はたくさんできます。例えば車椅子はいくらなのか、今まで一番うれしかったことはとか、どうやって電車に乗るのかという質問がよく出てきます。

答える側の私たちも、言われて気付くこと、改めてそのことを考えるきっかけをくれたりと、ボランティアスクールに行く度、勉強になります。

車椅子体験では、普段自分たちが過ごしている学校を車椅子で過ごすとなるとどういったところが不便なのか、普段何も気にせず走っている廊下でさえ、車椅子で通るとどう感じるか、段差と思っていたいなかったところが、怖かったり、段差を超えるのに時間がかかったり、介助者がいないと一人で通ることができなかったりと、実際車椅子に乗って体験してもらうことで、気にしないところに気付ける大人になってほしいと、願いながら取り組んでいます。

今後もボランティアスクールの内容を見直しながら、どうすれば生徒さんたちにとっていい気付きの時間になるかを考えて取り組んでいきたいと思えます。



当事者の話を聞いている小学4年生



車椅子体験の様子

中央公民館バリアフリー調査に行ってきました

新しく宝塚市役所前に中央公民館が建設されました。障害者が利用しやすいのか調査してきました。障害者目線で感じたことをまとめました!(^^)!

ILセンター障害者スタッフ 山崎 宗晴・芦田 裕也

【入口】

スロープは大きい電動カートでぎりぎり通行出来る広さで、普通の車椅子でも2台がすれ違うのは無理な広さだった。

やはり希望としては大きい車椅子が2台、すれ違える広さが欲しい。

【エレベーター】

入ってすぐ左手の位置にあった。

普通の広さだったが、もう少し入口が広ければ車椅子2台が乗りやすいのかもしれない。



【広さ】

廊下などは余裕のあるスペースで、問題なくスムーズに移動出来た。

【職員の対応】

優しく接してくれた。丁寧に分かりやすい説明をしてくれた。

【トイレ】

介助ベッドがあり、障害者にとって便利なボタンなどがたくさんあり、とても広くて使いやすかった。

反面、左側にボタン、トイレトペーパーなどが集中しており、左手が使える障害者なら良いが、左手が不自由な方にとっては不便なトイレだと思った。

トイレは1階と2階にあり、場所には困らないが、2つとも同じ作りのトイレだった。

2つあるなら左右反転した配置のトイレにするなど、左手が不自由な方への配慮も欲しかった。

せっかく新しい施設なので、作る時にもっと当事者の意見を取り入れて欲しかった。



【ホール】

やはり作って間もないと言う事もあり、綺麗な作りでした。

ホールも職員さんに案内してもらい、中を見させてもらいましたが、とても広く、綺麗な新築の匂いの残るいいホールでした。



【和室】

和室も見させてもらいました。綺麗な内装でしたが、構造上仕方がないのか、入る際に5センチぐらいの段差があり、足の不自由な方にとっては入れない場所になっていました。

それに加え床が畳な事もあり車椅子で入る事も難しいのかもしれませんが、将来的には皆が使えるスペースになってくれれば嬉しいですね。



【最後に】

総合的な感想としては他の公民館に比べて色々なバリアフリーな設備は増えています。しかし、肝心な所で欲しい設備が無かったり不便だったりするので、もっと当事者の声を聞いて参考にして欲しいです。



「宝塚北サービスエリア」って
障害者に優しいかな？

5月に新しく建設された宝塚北サービスエリアにバリアフリー調査に行きました。こちらも障害者が利用しやすいのか調査してきました(^_^)

ILセンター障害者スタッフ 奥村 柊・木内 佐世美

【入口について】

駐車場に入ると警備員が障害者用の駐車スペースに誘導してくれてスムーズに、止めることができました。(平日です)

駐車場から降りてサービスエリアに入る入口が、車椅子では入りにくくなっていました。たぶん係員に言えば真ん中の柵を降ろしてもらえるのでは？(柵の根本に鍵がありました)



障害者駐車場からの入口・柵

【トイレについて】

メイン、サブのトイレが2カ所ありました。非常に広い空間で、明るく、色合いもとても落ち着くダークトーンでした。設備も整っていました。

メイントイレには真ん中に手洗い場があり、それを囲むようにトイレが配置されています。空いている所が一目で分かる様な構造になっていました。

メイントイレの中にパウダールームスペースがありました。

着替えられるスペースは2カ所あるのですが、靴を脱ぐようになっていて車椅子では入れなかったし、介助者と入ると狭く利用しにくいと思いました。

手洗い場は車椅子では足が入らない為使えません。入口に近い所に2カ所、車椅子でも利用できる手洗い場がありました。

手すりもあり使いやすいです。

身障者トイレも2カ所ありました。個室の中も広くて、ベッドもあります。簡単に出し入れでき、高さもひざの位置で使いやすいそうです。呼び出しボタンはメインの身障者用トイレだけあります。

上と下2カ所に設置してあり、押しやすい位置にありました。オストメイト※用、ベビー用、着替え台が設置してあり、トイレはとても綺麗で掃除が行き届いていました。

身障者トイレの隣に家族で一緒に入れるファミリートイレがあり、中も広くて、子供連れでも安心してトイレにいけます。



障害者トイレ内部

※オストメイトとは
人工肛門・人工膀胱を造設している方

鏡はメインの方は車椅子でも見やすくできていますが、サブの方は外の手洗い所しか見られません。

女子トイレの中の手洗い場

女子トイレのパウダールーム
広くて車椅子でも使いやすくなっています



メイントイレの個室のトイレ内では手すりがなく、便座から手洗い場までが一人では少し不安に思いました。

子供連れにも優しい造りになっていて、授乳室(ミルクが作れる)、おむつ変えのベッドは5台位あり、子供がちょっと遊べるスペースもありました。

男子トイレは、立ってトイレする所にある手すりが
高く、僕は使いやすかったです。トイレの中は広くて
動きやすかったです。便器の上に手を洗う所がありました。



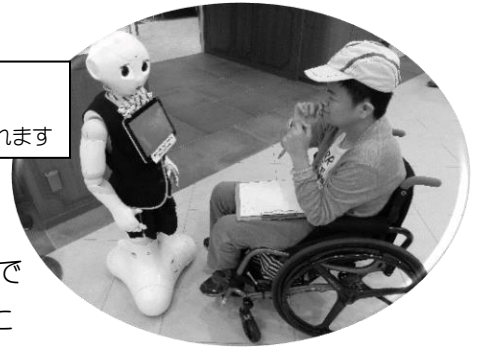
男子トイレも手すりがあります

丸い形になっていました。
これも使いやすかったです。



男子トイレの中の手洗い場

フードコーナー近くの
ペッパーちゃんが案内してくれます



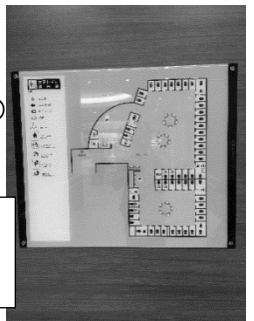
【フードコーナー、お土産コーナーについて】

パン屋と喫茶店もありましたが、中はやはり狭くて車椅子で
は入りにくいです。敷地内にテーブルとイスがあちらこちらに
置いてあるので、買って食べることはできます。ゆったりとできました。

お土産の所も車椅子一台でギリギリの間隔の通路なので狭く思いました。でもお会計で
待っていると「こちらどうぞ」と言って頂き車椅子・ベビーカー優先の会計に
誘導してもらえました。親切な対応をして頂き良かったです。

敷地内に表示板が多く、大きく見やすい点字、英語、韓国語等の標識にな
っていて親切だと思いました。

駐車場も広く取ってあり身障者用6台、EV(電気自動車)2台、バス優先2台の
スペースがあり、警備員が立っています。親切で丁寧に対応していました。



敷地内の四方八方表示板があり
見やすく工夫されていました



【ドッグランについて】

ドッグランもありました。
犬がいっぱい走っていました。
犬が遊んだりする場所があり
犬のトイレをする所がありました。
自分の家の犬は中型犬なので遊ぶには少し
狭いですが、ドッグランを走らせてみたいです。

長い間お世話になりました、前理事長の中山です

中山 君江

この5月の総会で理事長を離任しました。本当に皆さんには、色々とお世話になりました。ありがとうございました。頼りない私を、とことこの仲間たちが支えてくれて助けてくれたからこそ、理事長を終えることができました。仲間っていいなあつくづく思えます。これからは若い人たちが、今以上に大きく素晴らしい事業所を伸ばしていってくれると期待しております。いつも言っておりますが、守ってくれるのは家族の皆さん、育ててくれるのが仲間のみなさんと思っています、本当にありがとうございました。

私も今年で68歳になりました、口は達者ですが、脳と体力は衰えてきました。これ以上ご迷惑をかけないうちに退散いたします・・・。

正直、寂しくもあります。次期の理事長が若くしっかりされているので、安心してバトンタッチできます。よろしく願いいたします。

色んな事が、頭の中をかけめぐっておりますが、何かひとつといわれたら、機関誌にも以前書かせていただきましたが、まだ理事長になる前でしたが、私と障害者スタッフの土井さんと2人だけになったとき、私は視力障害者で全盲、土井さんは脳性麻痺でしゃべれません。彼は文字盤を使って人との会話をしておりました。見えない私としゃべれない彼、どんよりした空気を私は感じました。土井さんとなんとかお話ししたいなと思っておりました。

そこで私、土井さんに音を出してみても頼みました。土井さんキョロキョロ、音がでるものを捜して、私が「土井さん元気か？」土井さんドンとたたき、音が一つでイエス、ドンが二つでノー。これでお話できました。

ある時私が電話をとったとき、相手は何も言わず気配だけを感じました。

すぐに「土井さんか」と聞いたら電話の向こうでパサンと音が一つしました。「どうしたの」と私、「来れないのか」と聞く、パサンと一つ、「介助者がいないのかな」、音が一つ。

「わかったよ事業所に連絡するね」、音がまた一つ。ちゃんと会話になりました。

私はドンドン会話とよんでいます。今でも、土井さんとお話できます。

「土井さん、暑いなあ」と私、土井さんはドンドン。ふたつの音、「そうか暑くないのか」。

眼が見えない私と文字盤の土井さん。2人だけの楽しいお話でした・・・。

私の忘れられない思い出でした。

今はトーキングエイドという便利な機械がありますが、私と土井さんとの会話は温かいものを感じています。通じないと思っていたことでも工夫次第でわかりあえると感じています。皆さんもやり方一つで、相手に伝わるはずです、ぜひトライして下さい。

ありがとうございました。

ご挨拶

理事長 川原崎 浩史

発行人 関西障害定期刊行物協会 大阪府天王寺区真田山町二丁目二番四号 東興ビル4F
一九八四年 八月二〇日 第3種郵便物承認 毎月（一・二・三・四・五・六・七・八の日）発行 領価百円

とことこニュース 49号を読んで頂き誠にありがとうございます。

この度、前理事長の中山より理事長を引き継ぐ事になりました。川原崎浩史です。理事長と呼ばれる様になってまだ3週間程度です。当然これと言って実感もなく、ただ少し仕事が増えました？くらいです(笑)これから大変なんだろうなあって感じです。少しずつ勉強し前理事長の中山の様に皆さんから理事長として頼って頂けるような人間になっていきたいです。ちなみに今後もチーフと気軽に呼んでください。

正直、僕はまだまだ未熟者で経験や知識の不足で皆様に迷惑をかけてばかりの毎日です。ですので皆さん遠慮なくご意見、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いします。本当にどんどんお願いします。僕は、理事長になったからと言ってカリスマ性があるわけでもなく特に良いアイデアが出せるわけでもありません。フツワーの人です。一人で考えるよりいろんな人の意見やアイデアが欲しいです。なのでいろいろ教えてください。きっとその方が良い法人になると思います。ご協力お願いします。

そして、こんな僕が理事長をさせて貰えるのは職員、障害者スタッフ、ヘルパーさん、仲間の支えや理解があるからです。本当にありがとうございます。その分皆さんの期待に応えられる様に僕なりにボチボチ頑張りたいと思います。これからも障害当事者の生活をより良く出来る様に一緒に活動していけると嬉しいです。

こんな頼りない理事長ではございますが、とことこニュースをお読みの皆様も何卒よろしくお願ひ致します。

特定非営利活動法人とことこニュース

編集人 特定非営利活動法人とことこ

編集部 〒665-0882 兵庫県宝塚市山本南 2-6-5

TEL&FAX 0797-82-2233

E-mail sjcil@hotmail.co.jp

【アイエルセンターへのご寄付の方は下記に振込をお願いいたします】

池田銀行 山本支店 普通 28004

特定非営利活動法人 とことこ 理事長 中山君江